

注意／制限について

弊社の商品を使用する際の注意／制限について説明します。

必要に応じて、お使いの商品にあてはまる項目を参照してください。

補足

その他の注意／制限は、お使いの商品のユーザーマニュアルやヘルプを参照してください。

2021年4月1日、富士ゼロックスは富士フイルムビジネスイノベーションへ社名を変更しました。

弊社はゼロックスあるいは富士ゼロックスブランドで販売した商品の保守サービスを今後も継続いたします。

本機使用上の注意／制限

電源を切るときのご注意

電源を切ったあとも、しばらくは本機内部で処理をしています。電源を切った直後に電源ケーブルをコンセントから抜かないでください。また、ディスプレイが表示されているときや、ボタンが点滅しているときも、電源ケーブルをコンセントから抜かないでください。ストレージやメモリーが破損するなど、故障の原因になることがあります。また、電源を切ったあと、ディスプレイが消える前に電源を入れても、すぐに起動しません。ディスプレイが消えたことを確認してから、電源を入れてください。

文字コードについて

- ・ コンピューターからのデータ送信、USB メモリーなどのメディアからのデータ読み込みでは、フォルダー名やファイル名に本機でサポートしていない文字が使用されていると、本機で正しく表示されないことがあります。
- ・ コンピューター上で、ジョブフローを作成する場合、次の文字を使用してください。
 - > S-JIS 20-7E (JIS X0201 ローマ文字)
 - > S-JIS 889F-9872 (JIS X0208 第一水準漢字)
 - > S-JIS 989F-EAA4 (JIS X0208 第二水準漢字)
 - > S-JIS 8140-84BE (JIS X0208 非漢字) のうち、8160、8161、817C、8191、8192、81CA を除くもの

なお、半角カナ、①、ローマ数字などの特殊文字は使用できません。

カラーのドラムやトナーの消耗について

次の場合は、原稿が白黒でも、カラーのドラムやトナーを消耗することがあります。

- ・ プリンタードライバーのカラーモードで [カラー (自動判別)] を選択した場合
- ・ コピー機能のカラーモードで [自動] を選択した場合

実行中／実行待ちのジョブ数について

実行中／実行待ちジョブが最大ジョブ数に達している状態では、コンピューターからのダイレクトファクスの送信指示やプリント指示、本機からのファクス送信、コピー (割り込みを除く)、スキャン指示も受け付けられません。

ジョブが受け付けられたかどうかは、本機のジョブ情報やコンピューターのプリントキューなどで確認できます。

コピー機能使用上の注意／制限

白黒原稿／カラー原稿混在時の N アップ機能とメーターのカウンタについて

白黒とカラーが混在した原稿を、複数のページを 1 枚にまとめる機能（N アップ）を使ってコピーした場合、白黒ページとカラーページが 1 枚になったページは、カラーページとしてカウントされます。

プリント機能使用上の注意／制限

透かし印字でのメーターのカウンタについて

別売の拡張キットを利用して原稿に透かし印字（アノテーション、強制アノテーションなど）をした場合、メーターのカウンタは次のようになります。

- ・ カラー原稿の場合は、透かし印字の有無にかかわらず、カラーでカウンタされます。
- ・ 白黒原稿の場合は、透かし文字をカラーで指定していればカラーでカウンタされ、白黒で指定していれば白黒でカウンタされます。

ThinPrint について

同時に接続できる接続数は 3 までです。これを超えた場合、接続要求は待ち状態になります。待ち状態になる接続数は 10 までです。すでに開設済みの接続が終了すると、待ち状態になっていた接続要求が順次接続されます。

ファクス機能使用上の注意／制限

光回線や IP 電話回線におけるファクス通信について

弊社製品は、アナログ回線規格に準拠しています。光回線や IP 電話回線の場合には、伝送路の回線品質（パケットロス、エコー、遅延など）により、ファクス通信がエラーになることがあります。その場合は、回線事業者にお問い合わせください。

メール／インターネットファクス機能使用上の注意／制限

メール送信時のご注意

本機の通信確認画面、通信管理レポート、モニターレポートにおける送信完了は、本機に設定したメール送信用の SMTP サーバーまで送信できたことを示します。メール送信では、インターネット網の途中経路の問題により、受信側にメールが到着しない場合があります。このような場合、本機に対しては何も通知がありません。重要な内容を送受信する場合は、電話などによる確認をお勧めします。

インターネットファクスのプロファイルについて

・ インターネットファクスのプロファイルを指定するときは

相手先によって、処理できるプロファイルが異なります。相手先で処理できるプロファイルを確認してください。相手先が対応していないプロファイルが指定されると、相手先では、受信した画像を表示／プリントできません。送信側と受信側の双方が処理できるプロファイルを指定してください。

・ 受信時に扱える TIFF ファイルとインターネットファクスのプロファイル

- > TIFF ファイル形式：TIFF-FX(RFC2301)
- > インターネットファクスのプロファイル：TIFF-S、TIFF-F、TIFF-J、TIFF-C
- > 対応していないインターネットファクスのプロファイルを受信した場合は、ファイルをプリントできないことがあります。また、TIFF-C を受信すると白黒でプリントされます。

補足

Image/tiff-fx は、CIAJ（情報通信ネットワーク産業協会）で使用上の問題がないことを確認しています。

・ 同報送信時の送信条件について

- > 同報送信をする場合、インターネットファクス送信の相手先と、通常のファクス送信の相手先を混在させることができます。この場合、インターネットファクス送信の相手先にはメールが、通常のファクス送信の相手先にはファクスが送信されます。
- > 同報送信する相手先ごとの送信条件が異なるときは、すべての宛先を次の設定にして送信します。
 - 送信モード：G3 自動
 - インターネットファクスのプロファイル：TIFF-S
 - 開封／配送確認：なし

S/MIME の非信頼メール受信の設定について

S/MIME の設定で、信頼できないメールやインターネットファクスを受信しない設定にすると、開封確認（MDN）機能を使用する設定にしても、確認結果は受信できません。

ファクスゲートウェイ機能について

この機能は、ファクス送信をするインターネットファクス対応機のメール受信方法が SMTP の場合にだけ使用できます。

メールをファクス文書に変換して送信する場合、相手先に正常に送信できなかったときは、受信した元のメールは削除されます。

メール受信時のご注意

メールのデータによっては、メモリーが不足し、プリントできない場合があります。その場合は、送信元に解像度を下げて送信するよう依頼してください。

インターネットサービスプロバイダーに接続する場合の注意／制限

IP アドレスの設定

本機は、グローバル IP アドレスでの運用は保証していません。必ず IP マスカレードを使用した環境でご利用ください。

固定アドレスで運用する場合

お使いのルーター、またはドメイン管理サーバーなどの IP アドレスを管理するサーバーに、本機で使う IP アドレスを登録します。

DHCP で運用する場合

ルーターや DHCP サーバーの設定によっては、登録が必要になることがあります。お使いのルーターや DHCP サーバーの運用ルールをご確認ください。特に、MAC アドレスによる利用制限を行っている場合には、DHCP サーバー側への登録が必要になることがあります。

外部認証について

- ・ Kerberos サーバーを利用してプリントまたはダイレクトファクスをする場合、本機で認証中のユーザー情報で Kerberos サーバーに認証しようとする、認証エラーになります。
- ・ 外部認証に変更する場合、または外部認証からほかの認証モードに変更する場合、本機に登録されたユーザー情報、個人のボックス、およびジョブフローが削除されます。
- ・ Authentication agent は、認証ユーザーの証明書をサーバーから自動で取得する機能には対応していません。

ジョブ操作の設定に関するご注意

ジョブを表示しない設定にした場合、自分が実行したジョブを止めたり、削除したりできなくなります。そのため、コピー操作やファクス誤送信の場合でも、自分でジョブをキャンセルできません。

関連商品に関する注意／制限

Coinkit／Coin Cashier についての注意／制限事項

- ・ 次の場合は、Coinkit／Coin Cashier での課金ファクス送信ができません。
 - > ファクスポートを増設している場合
 - > ファクス送信課金用の単価テーブルの設定がない場合
 - > 「標準画質の単価」が、「高画質の単価」より高い場合
 - > 単価×枚数が、CoinKit／Coin Cashier の最大投入可能金額（¥ 15,120）を超えている場合
- ・ 次のファクス機能は使用できません。
 - > 手動送受信
 - > イミディエト送信
 - > ダイレクトファクス送信
 - > ボックス文書のファクス送信（ジョブフロー）
 - > インターネットファクス受信した文書のファクス転送
 - > 短縮ダイヤルからのファクス送信
 - > 同報送信、中継局による同報送信
 - > 通信管理レポート、未送信レポート、親展受信レポート、同報レポート、集信レポートの自動プリント
 - > 未送信文書の再送信
 - > 両面白紙スキップ
- ・ ファクス送信中に電源が切れたなどにより、ファクス送信が途中で中断した場合は、再度電源を入れ直しても中断されたファクス送信を再開できません。
- ・ ファクス送信ジョブの動作中に、他の課金対象となるジョブを実行できません。
- ・ 課金対象となるジョブの動作中に、新たなファクス送信ジョブを実行できません。
（例：ファクス送信動作中に、新たなファクス送信ジョブを実行できません。）
- ・ リダイヤルはできません。
- ・ 操作パネルに、オンフックボタン、オフフックボタンは表示されません。
- ・ 機械管理者だけがジョブ確認および機械確認を操作できます。
- ・ ファクス送信中の実行画面を閉じることはできません。
- ・ インターネットファクス送信は、課金できません。
- ・ Coinkit／Coin Cashier 以外の EP 関連商品（EPnet-BOX を除く）と併設することはできません。

電源を切るとき

本機の電源を切るときは、次の点に注意してください。

- ・ **印刷プロトコルが LPD または IPP でスプール処理をする設定にしているとき、印刷プロトコルが ThinPrint のとき、および Internet Services からプリントするとき**
プリント中のデータを含め、本機のストレージにスプールされたプリントデータはすべて保存されます。再び電源を入れたときに、新しくプリントを指示しても、保存されているプリントデータから順にプリントされます。
- ・ **印刷プロトコルが LPD または IPP でスプール処理をしない設定にしているとき、および印刷プロトコルが Port9100 または WSD のとき**
プリント中のデータを含め、本機の受信バッファにスプールされたプリントデータはすべて削除されます。再び電源を入れたときは、プリントデータはありません。ただし、プリント指示の直後に電源を切った場合、プリントデータがコンピューター上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときに、新しくプリントを指示しても、保存されているプリントデータから順にプリントされます。
- ・ **印刷プロトコルがメール受信プリントまたはインターネットファクス受信のとき**
本機の記憶領域に保存されたメールデータは保存されます。再び電源を入れたときに、新しくメールを受信しても、保存されているメールデータから順にプリントされます。
- ・ **印刷プロトコルがユニバーサルプリントで IPP のスプール処理をする設定にしているとき**
プリント中のデータを含め、本機のストレージにスプールされたプリントデータはすべて保存されます。再び電源を入れたときに、新しくプリントを指示しても、保存されているプリントデータから順にプリントされます。ただし、電源が切られるタイミングによっては、サーバーに残っている同一の文書が再度プリントされる可能性があります。
- ・ **印刷プロトコルがユニバーサルプリントで IPP のスプール処理をしない設定にしているとき**
プリント中のデータを含め、本機の受信バッファにスプールされたプリントデータはすべて削除されます。再び電源を入れたときは、プリントデータはありません。ただし、電源が切られるタイミングによっては、電源を切る直前にプリントされた文書が、再度サーバーから受信されプリントされる可能性があります。

プリントするとき

- ・ 印刷プロトコルが LPD または IPP でスプール処理をする設定にしているとき、印刷プロトコルが ThinPrint のとき、および Internet Services からプリントするとき

プリントデータの受信を開始したときに、プリントデータのサイズがストレージの残り容量より大きい場合、そのプリントデータは受信できません。

補足

プリントデータが受信容量を超えた場合、コンピューターによってはすぐに再送信することがあります。このときコンピューターが停止したように見えます。対処として、コンピューター側でそのプリントデータの送信を中止してください。

- ・ 印刷プロトコルが LPD または IPP でスプール処理をしない設定にしているとき、および印刷プロトコルが Port9100 または WSD のとき

あるコンピューターからプリント要求を受け付けていた場合、別のコンピューターからのプリント要求の受け付けができません。

- ・ コンピューターの IP アドレスやコンピューター名を変更したとき

本機側からの問い合わせ処理や取り消し処理が正常に行われなくなります。本機の受信バッファにプリントデータがない状態で、電源を切って入れ直してください。

補足

本機の受信バッファにあるプリントデータのプリント中止／強制排出は、本機の操作パネルから操作できます。

メールプリント機能使用上の注意／制限

メールプリントについて

ストレージの空き領域が少ない状態でメールを受信すると、受信動作を中止してもエラーコードは表示されません。

AirPrint 機能使用上の注意／制限

プリント機能使用上の注意／制限

- ・ 本機能は、認証プリントおよびプライベートプリントに対応していません。
- ・ 本機能では、AirPrint の仕様により、文字やイメージが崩れた状態で出力される場合があります。
- ・ 本機能を使用して出力された文書は、ジョブ履歴レポートで「IPP」と記載されます。
- ・ macOS の一部のアプリケーションでは、カラー文書を AirPrint でプリントする際に、白黒出力を指定しても、一部のオブジェクトまたは文書全体がカラーのままプリントされることがあります。文書を確実にカラーまたは白黒でプリントしたいときは、弊社製のプリンタードライバーを使用してください。
- ・ 手差しトレイの用紙が選択できない場合があります。手差しトレイの用紙でプリントしたいときは、他のトレイからすべての用紙を取り除き、手差しトレイだけに用紙をセットしてください。その際、用紙切れアラートが表示されますが問題ありません。

ファクス機能使用上の注意／制限

- ・ ファクス番号は、半角数字で入力する必要があります。誤って全角数字やその他の文字列を入力した場合、半角数字だけを抜き出して宛先として使用されることがあります。たとえば「03(1 2 3 4)5678」と入力した場合、「035678」に変換され誤送信につながります。ファクス番号が正しく入力されていることを必ず確認してください。
- ・ 件名の文字数が多すぎると表紙のレイアウトが崩れます。件名は半角英数で 49 以下または全角で 25 以下にしてください。
- ・ 宛先またはメッセージの文字数が多すぎると、表紙上で文字が途切れて印刷されます。同報の宛先数、またはメッセージの文字数を減らしてください。タイ語で件名を指定すると表紙に正しく表示されない場合があります。